

広報

ただみ

2

2024 月号

No. 645
令和6年2月10日



今月の表紙

【かるがもクラブ 団子さし】

第8回かるがもクラブは1月19日に行われ、5組の親子が会津地方の伝統行事である「団子さし」を体験しました。

一説には「団子さし」は、「五穀豊穡」や「無病息災」などを祈るための飾りとも言われています。

民生児童委員の皆さんに準備していただいたお団子を、皆で仲良くミズノキにさしました。

《特集》

青少年健全育成主張大会及び各種表彰
..... 2～5

広がる「『自然首都・只見』伝承産品」
..... 6～7

《News&flash》 8

《町の話》 9～11



第38回

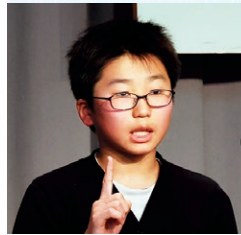
只見町青少年 健全育成主張大会



「みんなの未来へ、

SDG S

只見小学校6年 渡部 永遠



「高齢者の

自動車運転について」

朝日小学校6年 齋藤 仁



「ぼくの座右の銘」

明和小学校6年 梁取孝太郎



「自分の変化と

これからの課題」

只見中学校1年 三瓶 煌羽



只見町青少年健全育成町民会議と只見町教育委員会の主催で「第38回只見町青少年健全育成主張大会」、「第33回青少年健全育成標語入賞者表彰式」、「令和5年度只見町教育委員会 芸術文化賞・スポーツ優秀選手表彰式」、「第47回只見町文芸コンクール表彰式」が、1月27日に季の郷湯ら里で行われました。

主張大会は、小学生3人、中学生3人、高校生3人の計9名が学校での経験等を基に考えや思いを発表しました。発表者の素晴らしいメッセージに会場からは、大きな拍手が送られました。

なお、芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞及び町民文芸コンクルの受賞者は4〜5ページのとおりです。

「平等な社会の

実現のために」

只見中学校2年 目黒 季音



「SDG Sによって深まる

地域と学校の関係」

只見中学校3年 船木 翔空



「沖縄戦から学ぶこと」

只見高等学校1年 富本 結



「今なにを

『おもう』人か」

只見高等学校1年 新國 夢萌



「『私らしく生きる』

ということ」

只見高等学校1年 飯高あおい



令和5年度只見町青少年健全育成主張大会・標語表彰式
 芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞・町民文芸コンクール表彰式



▲主張大会発表者と健全育成標語入賞者の皆さん

第3 3回青少年健全育成標語入賞作品(敬称略)

部門	賞名	標語	所属等	氏名
小学生の部	優秀賞	3食を しっかりとって 健康だ	朝日小5年	わらがい しのぶ 藁谷 茂
	佳作	感謝の気持ち 言葉でしっかり 伝えよう	明和小6年	つのだ ひさき 角田 陽咲
	佳作	「ありがとう」 言えたみんなは 笑顔の輪	只見小6年	いがらしとうま 五十嵐寛真
	佳作	あいさつで みんなの笑顔を とどけよう	只見小6年	やざわ あかね 矢沢 茜音
中学生の部	優秀賞	あいさつの 笑顔も私の みだしなみ	只見中2年	さいとう ねね 齋藤 寧々
	佳作	友達はお金じゃ買えない たからもの	只見中2年	ゆだ ももあ 湯田 桃杏
	佳作	考えて ネットにアップ 大丈夫?	只見中1年	さいとう 琥珀 齋藤 琥珀
	佳作	只見町 人のやさしさ 引き継ごう	只見中1年	わたなべ ゆうき 渡部 悠希
高校生の部	優秀賞	何気無い 言葉の刃 自覚しよう	只見高3年	くりき けいと 栗城 溪人
	佳作	あいさつは 地域をつなぐ 合言葉	只見高1年	きつ しゅう 吉津 就
	佳作	努力義務 生死を分ける ヘルメット	只見高3年	かわかみ えいじ 川上 瑛士
	佳作	見逃すな 心と体の SOS	只見高2年	かわらだ あかね 河原田茜音
一般の部	優秀賞	あるんだよ 君の居場所は すぐそばに	大 倉	さいとう ゆみこ 齋藤由美子
	佳作	大丈夫 繋がっているよ 只見の空と	黒 谷	いわさ さち 岩佐 幸
	佳作	「ただいま。」と 子らの笑顔で ほっとする	蒲 生	たなか けいこ 田中ケイ子
	佳作	此の町の 笑顔を増やそう 挨拶で	只 見	いがらししげあき 五十嵐成明

芸術文化賞・スポーツ優秀選手表彰式



芸術文化賞

- ▽菅家沙月(只見小3年) ▯南会津郡小学校理科作品展 / **特選**
- ▽菅家一晟(只見小6年) ▯南会津郡小学校理科作品展 / **特選**
- ▽増田琉気(只見小5年) ▯令和5年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」 / **県最優秀賞**
- ▽中川保菜美(只見小5年) ▯令和5年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」 / **県優秀賞**②
- ▽令和5年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」 / **県優秀賞**②
- ▽大東芽生(只見中1年) ▯令和5年度ふくしまっ子ごはんコンテスト / **優良賞**
- ▽角田杏(只見中1年) ▯第27回ボランテア・スピリット・アワード / **文部科学大臣賞**
- ▽堀金康太(南会津高校2年) ▯令和4年度 全国高校生体験活動表彰制度「地域探究プログラム」 / **文部科学大臣賞**

スポーツ優秀選手賞

- ▽佐藤佑奏(明和小2年) ▯2023世界全極真東日本空手道選手権大会新人戦小学2年男女混合 / **2位**

- ▽菅家賢心(只見小3年) ▯2023世界全極真東日本空手道選手権大会新人戦小学3年男子 / **1位**

- ▽齋藤光希(明和小3年) ▯第43回ジュニアアルペンスキー福島県予選大回転 / **1位**②
- ▽第43回ジュニアアルペンスキー東北決勝大会大回転 / **2位**
- ▽矢沢茜音(只見小6年) ▯第75回福島県スポーツ少年団スキー競技大会アルペン大回転小学5年女子 / **1位**②
- ▽第53回全会津少年剣道大会小学5・6年女子個人 / **1位**
- ▽矢沢茜音(只見小6年) ▯渡部美礼(明和小5年) ▯渡部あさひ(朝日小6年) ▯第44回南会津町伊南武道館少年剣道大会小学女子団体 / **1位**
- ▽渡部永遠(只見小6年) ▯渡部あさひ(朝日小6年) ▯矢沢茜音(只見小6年) ▯第49回三瓶旗少年剣道大会小学5・6年団体 / **1位**②
- ▽第53回全会津少年剣道大会5・6年団体1部 / **1位**
- ▽只見スポーツ少年団ソフトボール ▯第1回全会津小学生男子交流ソフトボール大会 / **1位**
- ▽齋藤充希(只見中1年) ▯第75回福島県スポーツ少年団スキー競技大会アルペン大回転小学6年男子 / **2位**

- ▽岩佐澪乃(只見中2年) ▯第75回福島県スポーツ少年団スキー競技大会アルペン大回転中学1年男子 / **1位**②
- ▽第43回ジュニアアルペンスキー福島県予選大回転U14男子 / **1位**③
- ▽第43回ジュニアアルペンスキー東北決勝大会大回転U14男子 / **1位**
- ▽松永紗弥(只見中3年) ▯第37回全国都道府県対抗中学大会 / **県選拔選手出場**
- ▽横山敬都(学法石川高校1年) ▯酒井湧司(只見高校1年) ▯伏見英哲(只見中2年) ▯目黒純之介(只見中2年) ▯令和4年度第65回福島県中学校体育大会スキー大会クロスカントリ男子リレー / **3位**
- ▽矢沢魁史(会津学鳳高校1年) ▯第69回福島県高等学校体育大会剣道競技会津地区大会 / **1位**
- ▽福島県立只見高等学校野球部 ▯第75回春季東北地区高等学校野球会津支部予選 / **1位**
- ▽福島県立只見高等学校剣道部 ▯令和5年度全会津総合体育大会剣道競技 / **1位**②
- ▽令和4年度第42回福島県高等学校選抜剣道優勝大会 / **3位**
- ▽只見球友クラブ ▯第46回東日本軟式野球大会1部会津大会 / **1位**

第47回只見町民文芸コンクール表彰式



作文部門

◎小学生下学年の部

▽入選

角田虎太郎(明和小2年)

▽佳作

三瓶乃々葉(朝日小1年)
酒井 蒼太(朝日小1年)
酒井希乃花(朝日小1年)

詩部門

◎小学生下学年の部

▽入選

吉津ひなた(朝日小3年)
若山 仁(朝日小2年)

▽佳作

星 樹璃(明和小1年)

短歌部門

◎小学生上学年の部

▽特選

鈴木 帆奈(只見小4年)

▽佳作

渡部 結羽(只見小4年)

◎一般の部

▽入選

齋藤由美子(大倉)

▽佳作

吉津久仁子(黒谷)

俳句部門

◎小学生下学年の部

▽特選

角田 杏子(明和小2年)

▽入選

五十嵐夏生(朝日小1年)

▽佳作

長谷部君歌(只見小2年)
村上 稀(只見小2年)

◎小学生上学年の部

▽入選

長谷川来々(只見小6年)

▽佳作

菅家 一晟(只見小6年)
藤田 歩夢(只見小6年)

◎中学生の部

▽入選

五十嵐愛葉(只見中2年)

▽佳作

菅家 凛々(只見中2年)
矢沢 悠樹(只見中2年)

◎一般の部

▽特選

齋藤由美子(大倉)

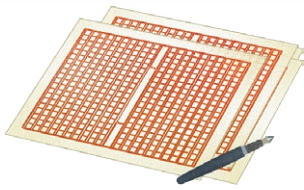
▽入選

原田 秀司(叶津)

▽佳作

目黒 富子(黒谷)
遠藤菜緒子(館ノ川)

※該当のなかった部門及び賞については記載しておりません。



広がる「『自然首都・只見』伝承産品」



復活した只見の手毬

「〜ブナと生きる雪と暮らす〜」『自然首都・只見』伝承産品』は、ユニスコエコパークの理念でもある只見町の豊かな自然と人の良好な関係を体現した地域ブランド産品です。只見産の原材料を使い、昔ながらの知恵や技術を活用した産品で、町の厳正な基準を経て、現在35品目が認証されています。

その中の一つ「只見の手毬（てんまり）」が広がりを見せています。実はこの手毬の芯には「ゼンマイの綿毛」が使用されているのです。



▲ゼンマイ



▲ゼンマイの綿毛

ゼンマイ折りが盛んだった只見町では、加工する際に出るゼンマイの綿毛を布団や半纏、手毬の芯にして無駄にすることなく活用してきました。時代が進むにつれてその伝統は途絶えてしまいましたが、令和元年に手毬の魅力に惚れ込んだ「ちよの会」のメンバーによって復活を目指すことになりました。「ちよの会」では、ふるさと館田子倉に残っていた故皆川ツギさんの手毬や書籍を参考に、他、町内で熱心に聞き込みを行い、試行錯誤を重ねてついにゼンマイ綿の「只見の手毬」を復活させました。



▲町内での聞き込みの様子



▲復活した只見の手毬
(ゼンマイ綿だけでなく只見町の伝統的な手毬模様も復活)



▲「只見の手毬」についてのインタビュー動画はこちらからご覧になれます

「只見の手毬」は、令和2年に『自然首都・只見』伝承産品』に認証され、置物の他、ストラップやネックレス、ピアス・イヤリングなどの商品展開も多様で、現在はふるさと納税返礼品にもなっています。令和3年に関東の大型デパートで展示された他、縁結びで有名な三石神社のお守りにもなり、参拝客のご縁をつなぐお手伝いをしています。そして、本年度は筑波実験地植物園の「つくばシダ展」にゼンマイとともに展示されました。また、現在は、ホテル雅叙園東京にて開催中の「百段難まつり2024」（3月10日まで開催）で、全国の手毬とともに展示されています。

他にも、手毬文化の復興普及活動などを行う「はれてまり工房」から、「ちよの会」が取材を受け、その活動を紹介する動画が作成されました。動画はYouTube（動画配信サイト）で公開されています。



▲「はれてまり工房」による「ちよの会」の取材の様子

このように、只見町の伝統的なゼンマイ文化とともに只見町の手毬が全国に広がっています。鮮やかな模様の中にも素朴な温かさがある「只見の手毬」は、ちよの会のメンバーがひと針ひと針心をこめて作っていますので、ぜひ、一度ご覧ください。



▲故皆川ツギさんの手毬(写真奥)を参考に、ちよの会が復活させた只見町の伝統的な模様の手毬(写真手前)



▲手毬ができるまでの工程

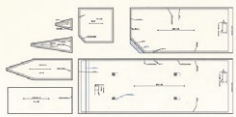
新たに2つの産品が認証

様々な広がりを見せる『自然首都・只見』伝承産品』ですが、今年度は新たに2つの産品が仲間入りしました。

「只見の仕事着型紙（ホソユッコギ・ダフユッコギ）／合同会社メーデルリーフ」と「経木（4寸・5寸・5寸半）／奥会津経木製作所」です。只見の仕事着型紙は、只見町の伝統的な仕事着であるユッコギ（現在で言うモンペ）を自分で製作するための型紙です。昔は仕事着は自分で作るもので、貴重な反物を一切無駄にしない裁断、縫製がされていました。合同会社メーデルリーフではこれらを伝承したいとの思いから、住民を巻き込んだワークショップを経て、現代でも活用できる型紙を完成させました。



▲只見の仕事着型紙（ホソユッコギ・ダフユッコギ）



▲仕事着の型紙

町内や関東の古民家でユッコギを作るワークショップを開催されるなど、積極的にユッコギ文化を広げていきます。



▲自分でユッコギを作るワークショップ

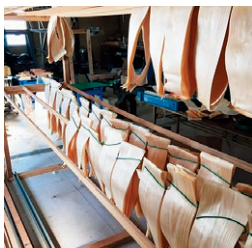


▲叶津番所でユッコギを作る参加者

経木は、木材を厚さ1mm以下の薄い紙状にしたものです。昔は包装材料等に使われていましたが、プラスチックの台頭により製造が激減し、今は見ることすら少なくなりました。一方で、時代は変わり、脱プラスチックなど環境に優しい製品が求められる世の中になりました。



▲経木（4寸・5寸・5寸ハーフ）



▲製作中の経木

奥会津経木製作所は只見町の豊かな森林資源を生かしながら、自然に優しく多様な用途での可能性が秘められている経木を通して、人々のライフスタイルや意識も変えていけたらという思いから、経木の製作、販売を始めました。従来の包装材料以外にも、料理の落し蓋や敷物、さらには端材を使った緩衝材など様々な活用が進んでいます。材料は只見産のアカマツです。



▲おにぎりも美味しく包めます



▲端材を細切りにした緩衝材

最近では取材や研修、木製ストロークを作るための視察もあるなど、これからの時代に大切な視点となって活躍されていきそうです。

只見町の人と自然との共生を体現した素敵な産品である『自然首都・只見』伝承産品をぜひお手に取っていただき、お土産などにもご活用いただければ幸いです。

詳しくはパンフレットをご覧ください。只見町のHPでも公開されています。



▲「自然首都・只見」伝承産品ホームページ



▲「自然首都・只見」伝承産品パンフレット

販売場所（町内）

- ただみ・ブナと川のミュージアム
- ふるさと館田子倉
- 只見町インフォメーションセンター（オンラインショップあり）
- 季の郷湯ら里



▲ただみ・ブナと川のミュージアム「自然首都・只見」伝承産品販売コーナー



▲ふるさと館田子倉「自然首都・只見」伝承産品販売コーナー

問合せ 交流推進課ユネスコエコパーク推進係 ☎ 82-5963

今年一年の無災害を祈る

「只見町消防出初め式」



▲コロナ5類移行に伴い、出初め式には、各班長以上が出席しました

「只見町消防出初め式」が、1月7日に朝日公民館で開かれました。式では、町の無火災無災害祈願や危険を伴う現場で活動する消防団員などの安全祈願が行われました。また渡部町長の訓示に続き、目黒消防団長が「消防署、警察署、町、消防団の連携が大切です。団員は万が一の有事の際に向けて、機械器具の点検やポンプの使用方法の確認をお願いします」と訓示を述べた他、関係機関への感謝と引き続きの協力をお願いを伝えました。今年も火の用心をお願いいたします。

新年を喜び祝う

令和6年「只見町新年交歓会」開催



▲三瓶氏は「皆さんで力を合わせてSDGsの17の目標に向かってできることに努力していくことが大事です」と話しました

令和6年「只見町新年交歓会」が1月5日に季の郷湯ら里で開かれました。渡部町長、大塚町議会議長の年頭のあいさつに続き、来賓の皆様からの祝辞が述べられ、その後、有限会社さんべ農園の三瓶清志氏が「只見ユニスコエコパークにおける農業の役割」をテーマに講演を行いました。講演後は、只見松楓会による祝詞が披露され、参加者は新年を迎えたことを祝いました。

認定こども園の設置に向けて

保護者座談会を開催



▲意見を共有する保護者

只見町教育委員会は、認定こども園の令和7年4月の設置に向け、保育所児童の保護者と未入所児保護者を対象に「認定こども園設置に向けた保護者座談会」を、1月21日に開催しました。座談会では、「子どもたちに身に付けたい力」、「施設、園庭等の環境」、「子育てに関するニーズ」等について、保護者同士で意見交換を行い、子育て世代が望む認定こども園のイメージを具体化していきました。今回の座談会で挙げられた意見については、今後の専門委員会や子ども子育て会議等に報告され、認定こども園設置に向けて検討が進められます。

12月12日 3歳児検診

虫歯のない子

かぜ ま はる き
風間 陽希くん
(小林)

あし た いち けい
藤田 一嘉くん
(只見)

わた なべ けい のん
渡部 叶暖さん
(蒲生)

こしほ なな
小柴 那奈さん
(只見)

「リゾートしらかみブナ」を只見線で走らせた 只見線子ども会議がJR東日本に署名を提出



▲集めた署名を提出した只見線子ども会議のメンバー

只見線子ども会議のメンバーは、12月26日に会津若松駅を訪問し、JR五能線を走る「リゾートしらかみブナ」の只見線での運行を要望する署名を藺田会津坂下駅長に手渡しました。

9月に初開催された只見線の利活用を考える只見線子ども会議で、「『リゾートしらかみブナ』を只見線でも走らせる」というアイデアが発表され、発表者の角田杏さんらが中心となり、実現に向けて集めた署名は3705人分になりました。

また、メンバーは県只見線管理事務所と国土交通省東北運輸局を訪問し、実現に向けた要望を提出しました。

人権問題に対する意識の高揚

只見中に福島地方法務局から感謝状の贈呈

只見中学校は、「第42回全国中学生人権作文コンテスト福島県大会」へ多数の参加(応募数)があったことが評価され、福島地方法務局長と福島県人権擁護委員連合会長の連名の感謝状が贈られました。

伝達は、12月26日に行われ、福島地方法務局若松支局長の鈴木氏は伊藤校長に感謝状を手渡し、「人権問題を子どものうちから意識付けすることは非常に大切なことです。引き続き、子どもたちが人権問題についての理解を深めるためにご協力お願いします」と話しました。



▲感謝状を手渡した鈴木支局長(右から3番目)

南郷トマト生産組合が報告に来庁

南郷トマト販売額が過去最高に



▲訪問された南郷トマト生産組合の皆さんと星代表理事専務

南郷トマトの今年度の販売額が過去最高額の12億2900万円となり、南郷トマト生産組合の高木組合長と新國副組合長、山内副組合長、JA会津よつばの星代表理事専務が、1月22日に渡部町長を表敬訪問しました。

今年度は夏の高温と少雨で厳しい生育環境でしたが、安定した生産体制や高単価を維持できたこと等から、昨年度の販売額10億9500万円を上回りました。

また、「8月6日」と「9月10日」が『南郷トマトの日』として、一般社団法人日本記念日協会の認定を受けたことを報告しました。

- ・「8月6日」 南郷トマトが地理的表示(GI)保護制度に登録された日
- ・「9月10日」 南郷トマトの「秋味」出荷時期、「食(9)いたいト(10)マト」の語呂合わせ

只見町の魅力を発信

高村帆香さんが「ただみスタンド」開設



▲お店を訪れた方に只見町をPRする高村さん

東北芸術工科大学企画構想学科4年の高村帆香さんが、全国各地で「ただみスタンド」を開設し只見町のPRを行いました。

「ただみスタンド」は、各地の立ち飲み屋に1日限定で町のお酒や食品などを提供する場を設け、高村さんがお客さんに町や只見線の説明を行い、只見町の自然や文化、食などの魅力を発信する取り組みです。

高村さんは、大学2年の時に、三石神社に関連する商品開発に携わるなど、これまでも町の魅力発信にご協力いただいております。昨年10月からは只見町ふるさと大使も務めています。

スキー場で新年を楽しむ

只見スキー場「正月歓迎イベント」開催

只見スキー場は、1月1日に正月歓迎イベントを開催しました。

リフト営業を行えるだけの積雪はなかったものの、イベントでは「雪中宝ひろい」が開かれ、イベントを楽しみにしていた親子ら、約30人が参加しました。

「雪中宝ひろい」では、賞品と引き換えられるくじが入ったケースを雪の中から探し出すもので、子どもたちはスタートの合図とともに雪の中に駆け出しました。

また、「おしるこの振る舞い」も行われ、参加者や来場者は身も心も温まる元旦を過ごしました。



▲雪中宝ひろいに参加する子どもたち

沖縄から只見町へ

昭和薬科大学付属高校 探究修学旅行で来町



▲迎えの車まで慎重に歩く、雪初体験の学生たち

沖縄県の昭和薬科大学付属高等学校は、探究修学旅行で只見町に2泊し、南会津地域の冬の農村生活やスキーなどウィンタースポーツを体験しました。

来町初日にバスから降りた生徒たちは、沖縄県では見ることの難しい辺り一面の雪景色に「すごい雪の量」、「雪の中に飛び込みたい」など只見町の景色に驚いていました。その後、町内各地区の民泊先に移動し、各家庭それぞれで、冬の過ごし方を体験しました。

郷土の味を伝える

食生活改善推進員会「ニシン漬け」を行う



▲漬け込み準備をする食生活改善推進員会の皆さん

只見町食生活改善推進員会は、1月11日に「ニシン漬け」の漬け込みを行いました。今回は約40キロのニシンを3時間かけて調理しました。

一説によると「ニシン漬け」は新鮮な魚を手入れにくい会津地域でも魚料理を食べられるように、保存性を高めるために作られたものと言われています。

今回漬け込んだ「ニシン漬け」は、2月10日から開催される「只見ふるさとの雪まつり」会場に並びます。

会場にお越しの際は、ぜひ「ニシン漬け」を味わってください。

エコバッグ作りで大学生と交流を深める

只見中学生が大学生に新聞紙エコバッグ作りを指導

町内の子どもたちの冬休み期間に合わせ、宿題などの補助を行うために実施されているウィンタースクールで講師を務めた福島大学F-cationサークル「ホップ」に所属する大学生に向けて、只見中学生による新聞紙エコバッグ作り講座が行われました。

ウィンタースクール中、教えてもらう立場だった中学生たちが教える立場になり、始めは少し緊張している様子でしたが、大学生からの作り方の質問などに受け答えする内に緊張もほぐれ、和やかな講座となりました。



▲参加した大学生と一緒に記念撮影をしました

野球しようぜ！

大谷翔平選手から町内小学校にグローブが届く



▲大谷選手寄贈のグローブでキャッチボールをする子どもたち

メジャーリーグのプロ野球チームで活躍する大谷翔平選手の寄贈グローブが1月に只見町教育委員会に到着し、1月17日に町内3小学校に贈られました。

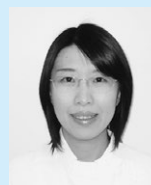
グローブは、各小学校それぞれに、右利き用2つ左利き用1つの計3つが届けられ、それぞれに大谷選手のサインが書かれています。また、合わせて大谷選手から「私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます」と手紙が添えられており、文末には児童に向けた「野球しようぜ」のメッセージがありました。

大谷選手、グローブのご寄贈ありがとうございました。大切に活用いたします。

広報ただみ診療所

災害時の歯みがき、お口のケアの重要性について

朝日診療所 歯科 齋藤 さゆり



この度の能登半島地震において亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

災害時の「お口のケア」は「身体の健康」に大きく影響します。

断水時、水が不足すると飲料水が優先され、貴重な水を歯みがきに使うことがためらわれます。歯みがきの頻度が減ることで細菌が増えやすい状態になります。細菌が繁殖すると健康にさまざまな影響を及ぼしやすい状態になります。

阪神淡路大震災では、震災で生き延びたにもかかわらず、その後の避難生活で体調を崩して亡くなる方が200人以上いらっしゃいました。4人に1人は肺炎が原因、中でも誤嚥性肺炎が多くを占めていました。災害時は、避難生活における栄養不足や睡眠不足、ストレス増大などの様々な要因から口腔機能が低下すると考えられます。また、いつも使っている入れ歯の紛失や不調などからも、誤嚥をしやすい状況といえます。誤嚥をきっかけに、お口の細菌が肺に入り込み、肺の中で増殖して炎症を起こす事で誤嚥性肺炎を発症します。歯周病の患者さんで普段から誤嚥を繰り返している方ほど、災害時に肺炎発症のリスクが高いと言われています。歯周病は、痛みなく進行するため、自分では気づきにくい病気です。また、誤嚥性肺炎は一度の誤嚥で発症するのではなく、誤嚥を何度か繰り返した後に発症します。災害時に、食べ物や睡眠が不足して体力が弱まると、お口の機能も弱り、増加した細菌を誤嚥しやすくなります。肺炎を防ぐために、歯みがきをしましょう。入れ歯の汚れを落とすことも大切です。食後には、できるだけ外して汚れをとりましょう。また、夜、寝るときには外しましょう。

平常時からお口の中を清潔に保ち、お口の不具合を感じなくても定期的に歯科医院で歯周病の有無を診てもらい、備える事が重要です。近年はコロナ禍や過疎化で、外出や人に会って話をする機会が減る傾向にあり、足腰だけでなくお口まわりの筋肉も弱りがちで、ますます誤嚥しやすい環境にあります。近年、台風や集中豪雨が大型化し、災害発生の頻度も高まっています。ぜひ、普段からお口の健康を大事にしてください。

地域おこし協力隊として Vol.110

はらなが まどか
只見町教育振興協力隊 原永 円香



私の趣味は博物館・美術館巡りです。自分が住んでいる県はもちろん、国内の様々な博物館を目当てに旅行をします。中でも北陸は好きな地域で、年に何度も行きました。今年のお正月の能登半島地震を受け、まずは全ての被災者の方に心からお見舞い申し上げます。そして、今回は北陸地方の博物館について書いてみようと思います。

初めて北陸地方を旅行したのは、大学4年生の時でした。その時は、石川県と福井県の2県に行きました。現代美術が好きな私にとって、石川県の『金沢21世紀美術館』は、必ず行きたい美術館のひとつでした。金沢21世紀美術館は、建物内外に恒久展示作品がたくさんあります。中でもヤン・ファープルの「雲を測る男」という彫刻は、建物の屋上部分に展示されています。行った際は、ぜひ外から建物の上を見上げて探してみてください。(現在は、地震の影響で休館中です。)

また、恐竜好きとして絶対に行きたかったのは福井県です。福井駅前には『恐竜広場』という場所があります。そこには、学名にフクイが含まれる「フクイティタン」、「フクイラプトル」、「フクイサウルス」のモニュメントがあります。それらの恐竜は鳴き声を上げたり、動いたりするので、迫力があります。福井駅からえちぜん鉄道に1時間ほど乗ると、『福井県立恐竜博物館』の最寄り駅である勝山駅に行くことができます。この博物館は、世界三大恐竜博物館に数えられることもあります。

富山県には、社会人1年目の時に初めて行きました。閉館前の『富山県立近代美術館』に行きたかったからです(現在は、『富山県美術館』と名称を変え、2017年に移転、リニューアルしています)。富山県美術館は、20世紀美術のコレクションが有名です。またポスターコレクションなど、デザイン分野の作品収集や展示にも積極的な美術館です。近代美術館建設にも関わった美術評論家、詩人の瀧口修造の作品や所蔵品が展示されているコーナーも必見です。

まだ私自身は行けていないのですが、石川県珠洲市では、2017年から奥能登国際芸術祭が行われています。3年に1度行われる芸術祭(トリエンナーレ)です。3回目となる「奥能登国際芸術祭2023」が2023年秋に開催されたばかりでした。芸術祭で披露された作品の中には、常設化したものも多くあります。地域の復興と共に、芸術祭の復興も願ってやみません。

発見!

たからモノ ただみの文化遺産

第11回

第2回テーマ展 身につける民具

現在
開催中



伝統的な仕事着

山仕事や田畑仕事の時、暑さ寒さ、風や日ざしから身を守るのが仕事着です。国指定民具の仕事着コレクションには、1940年代ごろから2000年ごろに用いられた伝統的な仕事着が集められています。只見の人々は仕事着を自分で作って、当て布や刺し子で補強しながら、仕事がしやすいものに工夫して一着を長く着ました。長年着てきた仕事着は体になじみ、仕事の頼もしいパートナーとなりました。



▲麻の葉文様のサシコジバン(部分) ▲当て布のサシコジュバン(部分)

虫めがねで観察しよう

仕事着の素材は綿・麻などの自然素材で、織り方や模様は江戸時代以来の伝統的なものです。今回の展示では、入館者に虫めがねを持ってもらい、仕事着の模様や織り方を拡大して観察していただきます。民芸運動の柳宗悦は、日常の用具は「用いられて美しく、美しくなるがゆえに、人はさらにそれを用いる」(『雑器の美』1926年)と説きました。虫めがねを持って、暮らしを彩った美しい民具の織り目や文様と、暮らしの智恵と技を観てください。

(久野俊彦)

ここからは、第2回テーマ展で展示される民具の中から3つの民具を紹介します。

バンドリ 素材：ワラ・スゲ



バンドリは、重い荷物を運ぶ際に使用した背中当てです。ワラとスゲで編んで作られています。背中に当たる面を拡大してみると、編み目が丁寧で美しいです。



ネコミノ 素材：スゲ・布・ワラ

ネコミノは、重い荷物や固いものを運ぶ際に使用されました。ニナ(荷縄)が肩に食い込んだり、背中に固いものが当たるのを和らげる効果があります。中には装飾されたものもあり、家印や文様を、布で編みこむことで表現しています。



ボロオビ 素材：絹・布



ボロオビは、女性が仕事着を着る際につけた帯です。縦糸に絹を、横糸には古着や端切れ布を裂いて使用しました。各家庭で織られました。使用された糸によって、さまざまな色のものがあります。日常を彩った民具です。

(原永円香)

写真：原永円香



ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示情報

入館無料



第2回テーマ展「身につける民具」

会期：2024年2月6日(火)～2024年6月16日(日)

場所：ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示ホール



町民文芸

只見短歌会 令和六年一月詠草

妹より送られて来し寒菊を活ければ小さき花日毎咲きつぐ
馬場 八智

降雪も少なく静か元旦や夕こく地震あわてふためき
関谷登美子

姑寝かす真冬の夜は長かりき読みやる絵本の文は短し
目黒 富子

笑みだけで親戚中を魅了する息子の姿アイドルのごと
立花 奏音

冬の朝厨に長き日の差してかぎろひの影ゆらゆら映る
新国由紀子

手毬てんまりに思ひを込めてひと針のかがるる糸の色を選びぬ
渡部ヨリ子

(出詠順)

只見俳句会 一月定例会

厚物や袖畳みして重ねおく
初富士や三角帽子白に黒
一穂

スリッパの脱ぎ捨ててあり大晦日
瀬戸内の冬夕焼けに立つ夫婦
修 一

初春や富士を背負いて走る人
舟唄を魚にぬる爛冬銀河
信

子供等の駆け込むバス停息白し
靴底はあたる指先冬ぬくし
都

雪嶺や呼吸整う太極拳
若水をあげて手合わす幼き子
一 恵

初雪や泥長靴で出でにける
北国の孫へ半纏冬初め
真理子

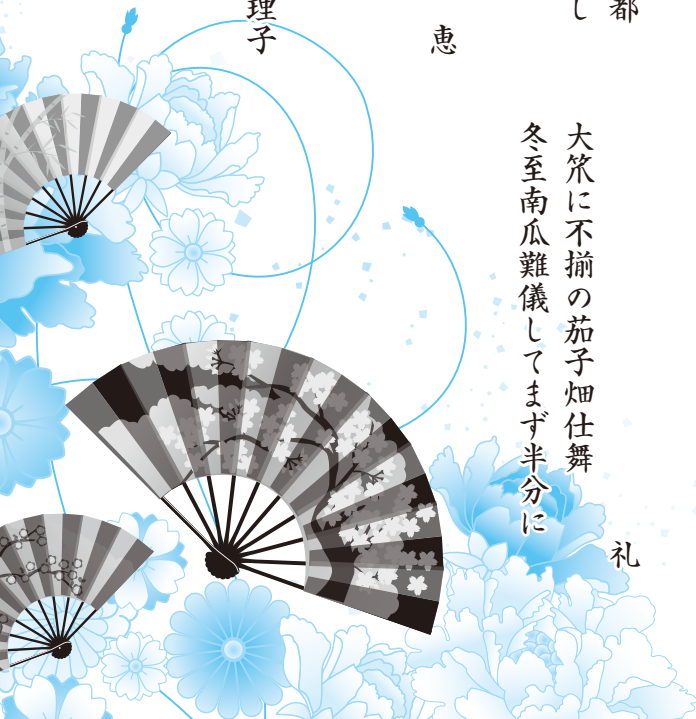
日高俊平太 指導

冬の朝夫のしぐさに振り返る
小春日や散歩の出合に立ち話
睦 子

出勤す街灯ともる冬の朝
マスクして頬温もりぬ歩あそび行神
紺 青

能登地震のみで埋ずまる初日記
女孤の夢見し朝の初鏡
恒 夫

大笨に不揃の茄子畑仕舞
冬至南瓜難儀してまず半分はんぶんに
礼



今月のお知らせ

試験

令和6年度国家公務員 「国税専門官採用試験」

仙台国税局では、バイタリティーあふれる国税専門官を募集しています。

国税専門官は、国の財政を支える重要な仕事を担い、税務署等において、調査や徴収、検査、指導などを行う税務のスペシャリストです。

【受験資格】

次のいずれかに該当する者

- ①平成6年4月2日から平成15年4月1日生まれの者
- ②平成15年4月2日以降生まれの者

れの者で次に掲げる者

- ・大学を卒業した者及び令和7年3月までに大学を卒業する見込みの者
- ・人事院が前項と同等の資格

があると認める者

【受付期間】

令和6年2月22日(木)から

3月25日(月)

【第1次試験日】

○試験日時

令和6年5月26日(日)

【採用予定日】

令和6年4月1日

【申込用紙の交付及び請求】

申込案内、提出書類及び受験申込方法については国家公務員試験採用情報NAVI (<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>) をご確認ください。

詳細につきましては、次の問合せ先にご連絡ください。

【問合せ先】

○仙台国税局人事第二課試験研修係

☎022-263-1111

○人事院東北事務局

☎022-221-2022

電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課	町民税務係	☎82-5110
	生活安全係	☎82-5100
保健福祉課	保健係	☎84-7005
	福祉係	
成年後見制度利用促進室		☎84-7010
農林建設課	農林係	☎82-5230
	建設係	☎82-5270
交流推進課	観光係	☎82-5240
	商工労働係	
移住交流係	薪エネルギー推進室	☎82-5220
ユネスコエコパーク推進係		
(ただみ・ブナと川のミュージアム内)		☎82-5963
会計室		☎82-5120
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見公民館		☎82-2141
朝日公民館		☎84-2111
明和公民館		☎86-2111

お知らせ

多重債務・貸金業に関する相談窓口

財務省東北財務局財務事務所では、返済しきれないほどの借金を抱えお悩みの方からの相談に応じています。借金の状況をお聞きし、必要に応じて弁護士・司法書士などの専門家に引継ぎを行います。秘密厳守、相談無料です。お気軽にご相談ください。

また、国や県の登録を受けている貸金業者を営む、いわゆる「ヤミ金融」業者には十分ご注意ください。ご利用されている貸金業者の登録状況に関するお問い合わせや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受付けています。

○相談窓口

福島市花園町5-46

福島第二地方合同庁舎5階

財務省東北財務局福島財務事務所 理財課

☎024-533-0064

○受付時間

月～金曜日(祝日を除く)

9時～正午 13時～16時

お詫びと訂正

広報ただみ11月号の『只見町広報員「ふるさと大使」委嘱状交付式』の記事内において、名前の振り仮名に誤りがございました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正いたします。

いたします。

ながた あきしく

正…永田 明德さん

税 今月の納期

2月26日までに

納めましょう

- 水道使用料(4期)
- 農集排使用料(2月分)



明和公民館の coworking スペースを勉強や仕事に利用しませんか。

明和公民館ロビーに coworking スペースが設置されています。館内にはWiFiファイが整備されています。勉強や読書、リモートワーク等に活用ください。

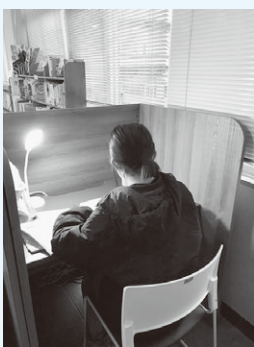
○利用可能日

平日8時30分～17時15分

(明和公民館開館中)

○使用方法

予約等は不要です。ご利用時に明和公民館の職員にお声がけください。





広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆今月の広報を手にとられている頃は、雪まつり開催中でしょうか。

「只見ふるさとの雪まつり」は、第51回を数え長い年月と共にその年その年雪まつりの開催にご尽力いただいた方々の思いとご苦労に思いを馳せずにはいられません。

自衛隊の方々が、町内に宿泊されながら雪像づくりに携わられた時代や、風雪でまつり当日にテントが吹き飛んだり、ステージ上での踊りが全く見えなくなることもありました。

また、長年にわたり会場設営の電気工事に携わってこられた本多電気工事店様の姿を思い出します。紙面をお借りしてここに改めて敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、今年は例年にならない浅雪と冬の雨という困難な環境にも関わらず、関係者の皆様には只見の雪まつりを成功させるんだという強い思いと共に懸命に作業にあたってくださいました。お陰様で「只見ふるさとの雪まつり」は立派な雪像と共に各種準備を整えていただきました。

◆只見町の魅力を詰め込んだ「街ガチャ」の販売を開始しました。

カプセルに町の名物をキーホルダーとして入れたもので、「ブナりん」、「蒲生岳」、「火の用心」、「味付けマトン」、「米焼酎ねっか」、「三石屋のそぼろパン」、「民芸品のクルミのカゴ」、「縁結び三石神社」、「ブナセンター」、そしてスキーをしている岩魚のキャラクター「只見スキー場のイワナ」の10種類です。1回300円ですので、見かけたらガチャを回してみてください。

また、設置場所は、駅前のインフォメーションセンター、季の郷湯ら里、深沢温泉むら湯、只見スキー場、ブナセンター、ふるさと館田子倉、森林の分校ふざわの町内施設7カ所と町下庁舎入口にありますので、よろしくお願いたします。

町長スケジュール 〈1月分〉

- | | | | |
|-----|--|-----|--|
| 4日 | 仕事始め式(役場町下庁舎、あさひヶ丘、広域消防只見出張所)、臨時庁議 | 22日 | J A会津よつば専務理事・南郷トマト生産組合長他来庁、只見町商工会役員との懇談会 |
| 5日 | 只見町新年交歓会 | 23日 | 県病院局他来庁、南会津地方環境衛生組合予算査定(下郷町) |
| 7日 | 只見町消防団出初め式 | 25日 | 能登半島地震に係る南会津地方町村会義援金寄託(福島市)、東邦只見新和会 |
| 9日 | 県立南会津病院年賀挨拶(南会津町) | 26日 | 只見町農業再生協議会総会 |
| 10日 | 県関係機関年賀挨拶(福島市) | 27日 | 只見町青少年健全育成町民会議専門部会、只見町青少年健全育成主張大会及び各種表彰式 |
| 11日 | 県関係機関及び新聞社等年賀挨拶(福島市) | 28日 | 「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会 |
| 12日 | 県立宮下病院年賀挨拶(三島町) | 29日 | 地域プロモーションアワード2023表彰式(東京都) |
| 15日 | 南会津地方環境衛生組合管理者会、南会津地方町村会役員会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会・同議会臨時会(南会津町)、南会津地方環境衛生組合議会臨時会(下郷町) | 30日 | 福島県町村会役員会(福島市)、会津を拓く講演会(会津若松市) |
| 16日 | 只見郵便局長来庁、スミタ光学ガラス工場長他来庁、会津電力(株)社長他来庁、定例庁議 | 31日 | 関東学院大学視察会訪問団と懇談、雪まつり実行委員会 |
| 17日 | 只見特産(株)取締役会、北海道新聞取材来庁 | | |
| 18日 | 県道小林館の川線改良促進期成同盟会県要望(南会津町～福島市) | | |

町民の消息

(12月26日～1月25日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

酒寄結瑞稀 (男/佳樹・沙織) 亀 岡
市川 蓮 (男/康介・葵) 蒲 生

■おくやみ申し上げます

渡 部 圭 喜	89歳	只 見
渡 部 義 雄	89歳	黒 谷
星 利 雄	95歳	荒 島
山 内 登 市	67歳	布 沢
馬 場 幸 弘	82歳	蒲 生
藤 田 初 男	64歳	只 見
鶴 巻 泰 弘	70歳	梁 取
中 野 剛	76歳	叶 津
菊 地 イサヲ	100歳	梁 取

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和6年1月1日現在

人 口	3,676 (-18)
男	1,819 (-12)
女	1,857 (-6)
世帯数	1,563 (-10)
高齢化率	49.0%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 3 転出 10 出生 2 死亡 13

▽いよいよ雪まつりが始まりま
す。今年の大雪像はオペラ座ガ
ルニエ宮です。その堂々たる佇
まいをぜひご覧ください。
▽暖冬の影響か、日中の気温が
3月下旬並みの日もあったかと
思えば、朝晩は氷点下5度を下
回る予報が出てみると、寒暖
差がとてもしんどい日が多いで
す。皆様も体調にはお気をつけ
てお過ごしください。

(小林)

あとがき

明和公民館 図書紹介

明和公民館図書室
☎86-2111

おすすめ新着図書

★人間標本

【著】湊かなえ (KADOKAWA)



蝶が恋しい。蝶のことだけ
を考えながら生きていき
たい。蝶の目に映る世界を
欲した私は、ある日天啓を
受ける。あの美しい少年た
ちは蝶なのだ。その輝きは
標本になっても色あせるこ
とはない。五体目の標本が
完成した時には大きな達成
感を得たが、再び飢餓感が
膨れ上がる。今こそ最高傑作を完成させるべき
だ。果たしてそれは誰の標本か。——幼い時か
らその成長を目に焼き付けてきた息子の姿もま
た、蝶として私の目に映ったのだった。イヤミ
スの女王、さらなる覚醒。15周年記念書下ろ
し作品。

★カラーモンスター がっこうへいく

【作】アナ・レナス / 【訳】おおともたけし
(永岡書店)



「がっこうってなに？」カラーモンスターはちょっと不安です。なぜって今日は初めて学校へ行く日…それなのにモンスターは学校がなんなのかまったく知らないのです。でも心配しないでモンスター！学校は楽しいことがいっぱい、冒険みたい！それに新しいお友だちも待っているんだから。

☆明和公民館ではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



(写真・文 太田祥作)

ホオジロガモ (学名: *Bucephala clangula*)

【カモ目カモ科】



▲ どちらも成鳥で、左が雌、右が雄。雄の成鳥は少なく、あまり見る機会はない。

ホオジロガモは雄の眼と嘴の間にある白斑が目立つことから「ホオジロ」の名があるカモの一種です。寒冷地に多く、春から夏はユーラシア大陸や北米大陸の北部で過ごし、秋から冬は越冬のため日本へ飛来します。町内で見られるカモの中では少数派ですが、ダム湖などで毎冬見ることができます。

越冬地はホオジロガモにとって出逢いの場であり、そこでつがいとなった雄と雌が、夏に大陸で子育てを行います。そのため、冬の雄ガモたちはモノトーンが際立った美しい羽で身を包み、雌に求愛します。求愛の際、雄は頭を大きくのけぞらせて背中に合わせる「ヘッドスローディスプレイ」という独特の行動をとります。なお、雌や若鳥は黄色の眼や先端が橙色をした嘴などの特徴がありますが、雄に比べ地味です。



▲ ヘッドスローディスプレイの様子

生き物の気配に乏しい真冬の只見町ですが、越冬のためやってきたホオジロガモをはじめ、様々なカモたちで賑わう水辺は活気を感じさせてくれます。雪の止み間にカモの観察はいかがでしょうか。

只見町ブナセンターからのお知らせ

只見町ブナセンターでは、2月17日(土)に下記観察会を開催予定です。詳細は只見町ブナセンターのホームページをご覧ください。電話0241-72-8355までお問い合わせください。

自然観察会「冬のブナ林観察会」

日時：2024年2月17日(土) 13:30～15:30
集合：季の郷湯ら里 駐車場 定員：20名 (事前予約制)

また、ただみ・ブナと川のミュージアムでは下記企画展を開催中です。どうぞお越しください。

企画展アーカイブ・プラス「只見の自然を食べる！」

会期：2023年12月2日(土)～2024年4月21日(日)
場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー